

楷書 (この課題で書体は自由。但し、この課目は一人一点のみとする)

柳意故將花作雪
蝶情欲以夢為人

清原大龍先生書

行草書

柳意故將花作雪
蝶情欲以夢為人

吉田成美先生書

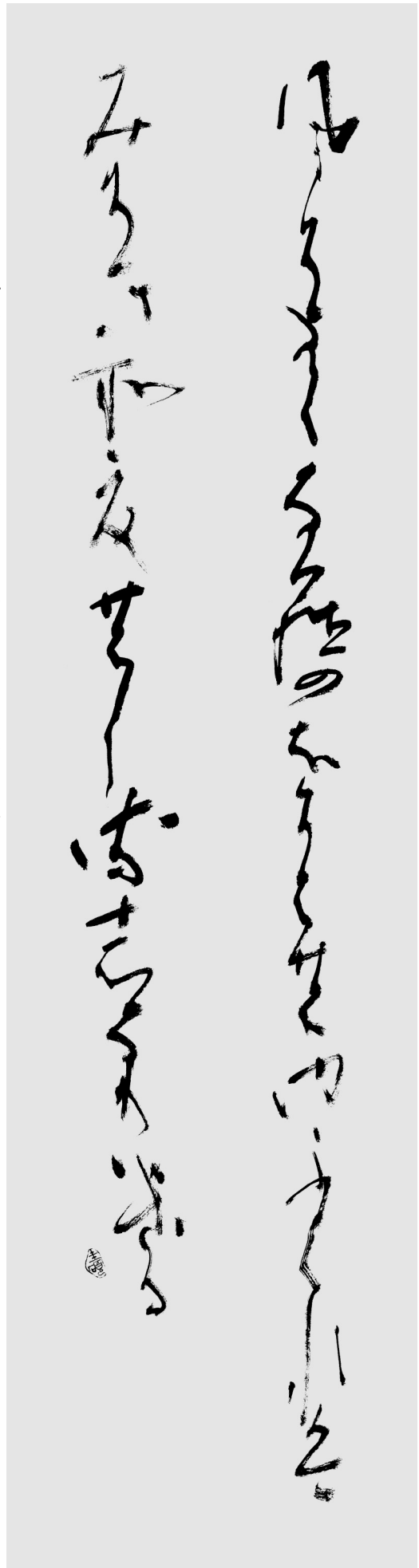
□ 柳意故さらに花を將つて雪と作し、蝶情夢を以つて人と為らんと欲す。(張祖詠)

柳は故意に花びらを飛散して雪を吹き、蝶は多情にして夢を借つて人と為らんとする。

次号予告「四海仰瞻堯日月 萬年長履禹山川」

条幅随意（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

舟尾圭碩先生書



□ 風そよく な羅らのを可か者は農の ゆふくれ盤は みそき所そ夏の農の し流る志しなり遣ける △百人一首九十八▽
風そよく ならの小川の 夕くれは みそきそ夏の しるしなりける

条幅随意（臨書）（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目は一人一点のみとする）

山本飛雲先生臨

皇情其如失凝清秋於
廣路遡悲風於長經

▽文皇哀冊

皇情其如失凝清秋於廣路遡悲風於長經

条幅随意（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

吉田成堂先生書



□「本」 三好達治の詩 蝶よ白い本 蝶よ軽い本 水平線を縫いながら 砂丘の上を舞いのぼる

条幅随意（半折½横のみ）（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）



井之上 南 岳 先生 書

□ 出揃うて 土筆は沖を 見ようとする

直立する姿が筆によく似ているので土筆の漢字が用いられる。鹿兒島では筆草とも呼ばれる。多様な表現を試みてほしい。

△手本（課題例）にとられず意欲的な作品を期待します。

半折作品は各課目ごとに横に一枚ずつたんで提出ください。

条幅随意（半折½）漢字・詩文書の手本は、各月交互の掲載となります。

(この課題で書体は自由。但、この課題は一人一点とする)



□ 龍池五雲を望む (繆日芭)
春色は龍池の水暖かに満ち、たな引く五色の雲を望むのである。

次号予告「薫風細葛涼」

吉田成美先生書

(この課題で書体は自由。但、この課題は一人一点とする)



□ 竜池五雲を望む(繆日芭)
春色は竜池の水暖かに満ち、たな引く五色の雲を望むのである。

次号予告「薫風細葛涼」

吉田成美先生書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

半紙随意の漢字・詩文書の手本は、各月 交互の掲載となります



□ 瑤たま 春しゅん
春の美称、玉の如き春の意。

小 島 秋 聲 先 生 書

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目は一人一点とする）

▽ 文皇哀冊



△ 臨書▽ 筆の上下動を意識し、文字の大小・細太に留意して温かみのある線を引きましょう。

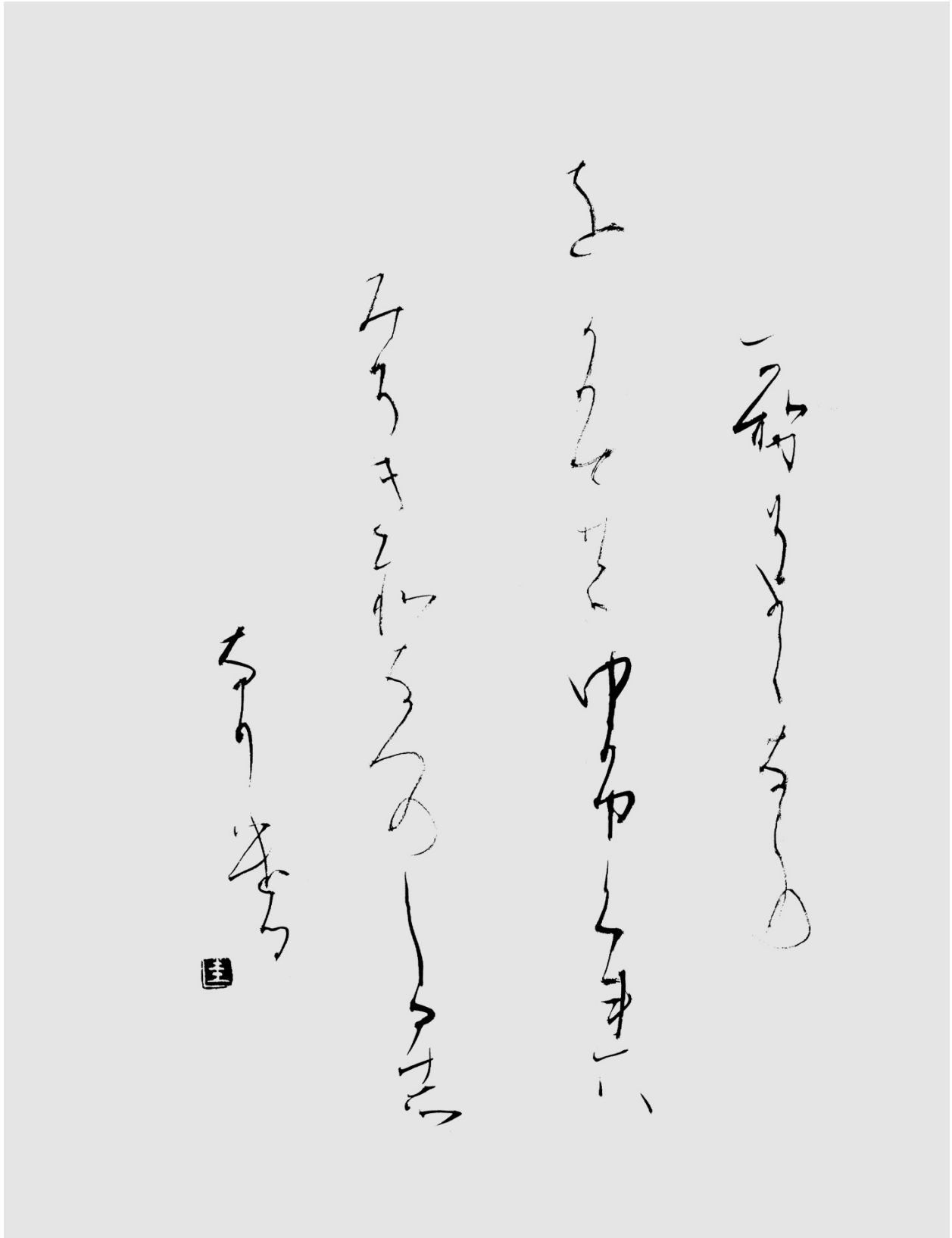
「痛皇情其如失」

渡邊大嶽先生臨

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

△仮名▽

可勢かせそよく ならのを可盤かは農の ゆ布ふく連八れは みそき所そなつの しる志しなり遣る



風そよく ならの小川の 夕くれは みそきそ夏の しるしなりける

舟尾圭碩先生書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

半紙随意の実用書・手紙文の手本は、各月 交互の掲載となります

△手紙文▽

その後体調は如何でしょうか この冬の札幌は みずも 身重のあなたには特に大変だった事でしょう でも母
親になる期待で 何ごとにも堪えられるよね 月末に二人で会いに行く予定です 知子

その後体調は如何でしょうかこの冬
の札幌は身重のあなたには特に大
変だった事でしょうでも母親になら
期待で何ごとにも堪えられるよね
月末にえで会いに行く予定です
知子

兵頭白慧

伊良子 喜代 先生書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目A・Bのいずれか一点のみとする)

書譜

△暮らしに役立つ書▽

南のほうから花の便りも聞かれるようだ
季節になりました。
奈緒さん、貴女がご希望の九州大学へ合格
おめでとう、お母さんからうかがいました。
これからはいよいよ本格的な勉強で大変
でしょうが、張り合いもありますね。
私も応援していますので、是非頑張ってください
くださいね。お祝いさしお贈りしますので、
お受け取りくださいね。

野のある便箋に書いてみよう。

△26 cm × 18 cm▽

紙質は自由。

※ 本研究社にて「特選便箋」を発売しております。本誌裏面をご参照の上、ご利用ください。

小 畠 秋 聲 先 生 書

一般硬筆部参考手本〈B〉 — 4月28日締切 —

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目A・Bのいずれか一点のみとする)

	の標語は今も色褪せることがない。	に不断の用意という関東大震災後	果てぬ夢らしく。ゆえに「不意の地震	聴診器は頼りなく、地震の予知は見	科学は進んでも、人間が地球にあって
段 級					
氏 名					

小 畠 秋 聲 先 生 書



今月のかきかたドリル (形や注意する点に気をつけてゆくり書こう！)

中学	小学6年	小学5年	小学4年	小学3年	小学2年	小学1年	ようねん
競 <small>競</small>	張 <small>張</small>	春 <small>春</small>	色 <small>色</small>	開 <small>開</small>	言 <small>言</small>	る <small>る</small>	う <small>う</small>

一般の方も是非チャレンジしてみてください。

坂元 紫香 先生 書

虫かかご

小学4年

ねん土

小学3年

ことり

小学2年

にじ

ようねん・小学1年

（この課題以外の語句のものもよい。但し、その学年にふさわしい語句が望ましい。）

調和を保つ

中学2・3年

丸い地球

中学1年

光る湖水

小学6年

よもぎの葉

小学5年

坂元紫香先生書

△条幅¼ 四尺画仙紙半折¼ : 68cm × 17.5cm ▽

□書き始めは、筆の先をきれいにととのえて、腕全体で元氣よく書きましょう。



小学二年

次号予告「つばめ」

□「ハネ」「バライ」「トメ」のふでづかいにきをつけて、のびやかにかきましょう。



ようねん・小学一年

次号予告「たけ」

坂元紫香先生書

□字形は、や、縦長に保ち、二画目の転折、六画目の点は力強く、立体感のある作品にしよう。



小学四年

次号予告「大地」

□横画の方向の違いと、縦画の位置に気をつけて、伸びやかに元氣よく書こう。



小学三年

次号予告「日」

吉田成美先生書

小学五年



次号予告「道」

□ 平仮名と漢字の大きさやバランスに気をつけ、「葉」は横画の長さの違いに注意しましょう。

小学六年

次号予告「あけびの花」



□ ㇿの点の位置、ㇿ口の大きさ、高さの違いに注意して、たて画をしっかり書こう。

秋永春霞先生書

中学一年



次号予告「探究」

□ 漢字を構成する点画の種類を確かめながら、楷書の筆使いを意識して伸びやかに書こう。

中学二・三年

次号予告「桜草」(行書)



□ 行書の点画の省略を理解し、省略のしかたを意識して、名前も行書でチャレンジしよう。

吉田成美先生書

一十あ あはめる あはめる あはめる あはめる あはめる あはめる あはめる あはめる あはめる あはめる

段級											
氏名											
	き	あ	い	う	え	お					
	う	た	い	え	う	き	う				
	だ	あ	い	う	え	お					
	あ	か	る	い	あ	き	ひ				

小学一年

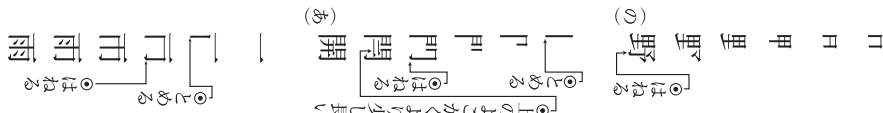
一ヤざ、ら、し、は、ほ

段級											
氏名											
	た	ん	は	は	う	く	し				
	あ	く	ら	う	く	し	す				

ようねん (※ようねんの方は、小学一年の課題を書いてもよい。但、審査は従来通りです。)

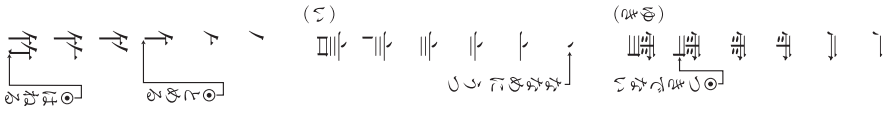
段 級	
氏 名	
野ねずみたちは、目を 開けたりどじたりしな がらとくぐりマイクの 雨の音にのりまわった。	

小学三年



段 級	
氏 名	
雪が 竹やぶの なかを 抜けて お目ざ しに まわった。	

小学二年



「左から右へひく」

「下ヨリ所所所」

「①とめる」

「②とめる」

近所のおばあさんが家の前の	落ち葉をほうきで集めて、ソウ	しをしていた。小さいころから	知っているおばあさんだ。「さん	にちは。春花はあ、さつをした。
---------------	----------------	----------------	-----------------	-----------------

小学五年

「①きでよせんにつける」

「②ササオチ花」

「③上にはねる」

「④立てよせんにつける」

「⑤あいだをあげる」

「⑥一六六交換」

クローバーが青々と広がりに	わた毛と黄色の花の交差	した人ほほが点々のも	とびになつてまいてゐる。
---------------	-------------	------------	--------------

小学四年

小学六年

絶対には「お母さん」は言わな
い。「言うもんか」が「お父さん」が「んかに
い」に「かげん」に「意地を張るの」は「や
めなさいよ」。「お母さん」は「あきれ顔
で言うけど」。「あやまる気はない」。

段	級
氏	名

◎はねる
◎はねる
「コ」引「引」張
◎立て
◎よこせんにつける◎とめる
ワ立産彦顔

か「細い」雨「が」降「って」いる「せ」いで「今日」
の「体育」は「バスケットボール」だ「った」。
ま「だ」が「し」んで「ない」仲「間」の「チ」ム
競「技」は「なが」なが「か」厄「介」だ「だけ」ど「僕」
は「バスケット」は「得意」だ「った」。

段	級
氏	名

◎まのすく下に均す
◎はねる◎まのすく下におろす
サ 音 競 一 戸 厄 、 へ 介 介
厄介(やっかい)